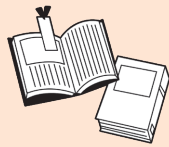


まちとしよ

～大石田町立図書館 information～



Web OPAC
PC・スマホ版

- ◆ ☎35-3877 ◆ 公式HP <http://nji.town.oishida.yamagata.jp/library>
- ◆ 大石田町立図書館蔵書検索システム(WebOPAC)から蔵書の検索や貸出状況、新着情報の確認などができます。利用者登録をしている方は、貸出中の図書を予約することができます。詳しくは図書館にご確認ください。

- 開館時間 午前9時～午後7時(日曜日・祝日は午前9時～午後5時) ※12月26日(金)は午後5時まで
- 休館日 毎週木曜日(祝日の場合翌日)・年末年始・特別整理期間など
- 《12月・1月の休館日》12月4日(木)、11日(木)、18日(木)、25日(木)、27日(土)～1月4日(日)

参加費 無料

四回シリーズの最終回！先生による解説や朗読を交えながら一緒に楽しみましょう。

読書会 全四回(一回のみの参加も大歓迎！)

「声でたのしむ源氏物語」

第四回 / 12月6日(土)

午後2時～午後3時半

会場 / 虹のプラザ 2階中会議室

講師 / 大場 玲子氏
(町内出身・元高校国語科教員)

今年最後のお楽しみ！

冬のクリスマスおはなし会

12/14日 10:30-11:30

場所 | 大石田町立図書館 おはなしコーナー

冬のおはなしとサンタ&トナカイのぼうし工作を楽しみます♪

今月は、どの本を読む？



『地図にないお店 純喫茶クライ』

(吉田 桃子 // 作 岩崎書店)

辛い思いをしている子どもの前に、ある日突然現れる「純喫茶クライ」。扉を開けると、ミルクセーキや、プリンアラモード、ホットケーキなど、心躍るメニューたちが待っています…。明日を生きる希望が生まれる物語。

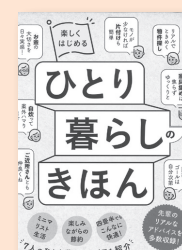
『子どものスキンケア・メイク』

(秋山 浩子 // 文、小西 真純 // 監修、藤本 たみこ // 汐文社)

肌トラブルが気になる！メイクがしてみたい！小中学生世代ならではのニキビケア、日常で気をつけたい紫外線ケア、メイクを楽しむ上で気をつけたい点などを医師監修で紹介する。



新着本から話題の本・おすすめ本を紹介します！



『楽しくはじめるひとり暮らしのきほん』

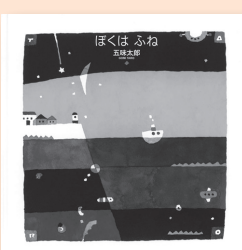
(成美堂出版編集部 // 編 成美堂出版)

部屋の探し方や賃貸契約から、引越しの具体的な注意点、片付けや洗濯など暮らしのきほんまで、ひとり暮らしをする上で知っておくといいポイントと注意点を紹介する。先輩のリアルなアドバイスを多数収録。

『ぼくはふね』

(五味 太郎 // 作 福音館書店)

嵐で大荒れの海。小さな船はヘリコプターに吊り上げられて助けられますが、陸の上に置かれてしまいます。もうどこへも行けないと嘆いていると、他の船がやってきて「その気になれば、どこだって進めるものだよ」と声をかけ…。



中学校入学に向けて



町内3小学校6年生合同の修学旅行が、9月18日、19日の1泊2日で行われました。1日目はあいにくの雨模様でしたが、中尊寺で歴史を学び、金色堂の輝きに感動しました。その後、トヨタ自動車東日本の工場を見学し、最新のものづくりの現場を体験。さらに石巻市立門脇小学校を訪れ、震災を受けた当時の様子や命の大切さについて学びました。宿泊は松島のホテルへ。子どもたち同士が互いに親睦を深めながら楽しいひとときを過ごすことができました。

2日目は一転して快晴。瑞巖寺を見学した後、松島湾の遊覧船に乗船し、美しい景観を堪能しました。ちょうど上空ではブルーインパルス練習飛行が行われ、子どもたちは大喜び。最後に仙台うみの杜水族館を訪れ、海の生き物とのふれあいを楽しみました。

今回の合同修学旅行は、中学校入学を前に子どもたち同士の絆を深め、思い出に残る貴重な体験となりました。

■ 教育文化課 学校教育グループ
☎35-2111(内線252)



▲修学旅行の様子

町長コラム

「次世代へ虹をかける」

『好きなことを大切に…』

皆さんこんにちは！すっかり寒くなり、長そでシャツに下ズボンを履くようになりました。今年の秋は本当に短かったですね。皆さんお身体に気をつけてお過ごしください。

私は子どもの頃から野球が好きで、父が買ってくれた「週刊ベースボール」を毎週読み、春先にはプロ野球選手名鑑を隅々まで眺め、甲子園からプロ野球まで胸を躍らせていました。特に阪神タイガースが大好きで、高校生になると放課後学校近くの県立図書館へ行き、野球に関する本や雑誌を読み、選手の小さなエピソードまで覚えるほど夢中でした。しかし、当時はその話を共有できる友人が身近にいませんでした。社会人になり大阪に赴任した時、同じように阪神に熱い先輩と出会いました。一緒に甲子園へ幾度となく足を運び、高知・安芸市の春季キャンプにも出かけ、語り合う楽しさを知ることができました。

vol.23



漫画「宇宙兄弟」の中で、今いる場所と同じ興味を持つ人がいなくても、一歩踏み出せば、世界には必ず「わかり合える仲間」がいるということを実感する、という場面があります。主人公は子供の頃から、周囲には自分が好きな宇宙を誰も興味がなく、ずっと寂しい思いを抱えていました。が、宇宙飛行士選抜試験で初めて自分と同じ宇宙に興味がある人たちと出会い「ここにいたんだ」と誘ったら喜んでついてきてくれそうな仲間が「ここにいたんだ」と感慨深げに想うのです。

「好きなことを大切にしたい。あなたの仲間、は、ちゃんとこの世界にいます」と同じような気持ちでいる子ども達には伝えたいです。子ども達には自分が興味あることをどんどんしてもらいたいですし、それを温かく見守られる町でありたいです。

大石田町長 庄司 中

※書影は各出版社HPまたは規定する方法から、紹介文は「TRC MARC」より引用しています。すべて町立図書館蔵書。